

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-033331

(43) Date of publication of application: 09.02.2001

(51)Int.CI.

G01L 11/02

(21)Application number: 11-202204

(71)Applicant: YAZAKI CORP

(22)Date of filing:

15.07.1999

(72)Inventor: KUDO TAKEMICHI

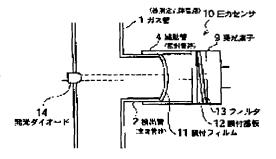
HASEGAWA YASUTAKA

(54) PRESSURE SENSOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a pressure sensor which eliminates the need for a high-speed process for pressure detection and an detect pressure with high precision.

SOLUTION: A Fabry-Perot etalon structure is formed by arranging a film 11 and a substrate 12, each having a reflecting film formed on one surface and a reflection-preventive film formed on the other surface, so that their reflecting surfaces face each other, and a high-pass filter 13 is arranged obliquely between the film-formed substrate 12 and a photodetecting element 9.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

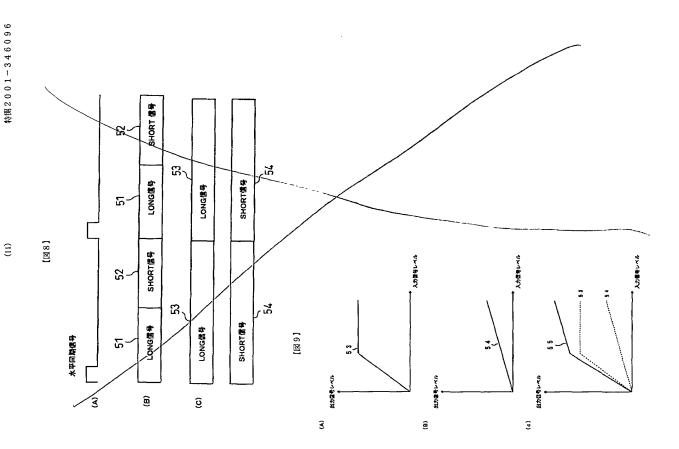
[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



(12) 公開特許公報(4) (19)日本国特許庁(JP)

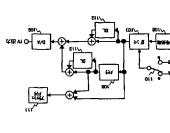
(11)特許出願公開卷号 特開2001-333331

(43)公開日 平成13年11月30日(2001.11.30) (P2001-33331A)

(51) Int.Cl.7		建 別配号	F I		1	テーマコード(参考)	₩.
H04N	5/335		H04N	2/335	œ	2H002	2
G03B	1/00		G03B	2/00	2	2H054	4
	1/091			1/091		5C022	2
	19/02		=	20/61		5C024	4
H04N	5/235		H04N	5/235			
			審資語決	審査請求 未請求 韻求項の数8 〇L (全 7 頁)	¥8 OL	(₩	Ħ
(21) 出職番号		特III2000-154359(P2000-154359)	(71)出題人	000005108			
				株式会社日立製作所	u =		
(22) 出版日		平成12年5月22日(2000.5.22)		東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	1数河台四	(7 目 6 ₹	報
			(71)田間人	000233136			
				株式会社日立画像情報システム	有報システ	4	
				神奈川県横浜市戸緑区吉田町292番地	政古田町	7382年增	
			(72)発明者	西魯 明仁			
				神奈川県横浜市戸線区吉田町292番地 株	政古田町	7392番培	棌
				式会社日立製作所デジタルメディア開発本	ドンタルメ	717	完本
				第 公			
			(74)代理人	100075096			
				弁理士 作田 旗夫	ענ		
						最終買に統く	談

(54) [発明の名称] 機像装置

持つ短時間撮像の著積時間の設定の自由度をもたせ、垂 直の解像度の減少を防止できる撮像装置を提供する。 【解決手段】短時間陽光を行った電荷を1両素並んだフ 続けて通常腐光を行った電荷を同様に混合せずに読出す と共に、メモリに格納した信号と適当な比率で加算す 【課題】通常腐光で白飛びしてしまう領域の損像を受け オトダイオードと混合せずに読出してメモリに格納し、



特閥2001-333331

ව

|特許請求の範囲|

数擬像素子の各画素に蓄積した信号電荷を出力するよう 【請求項1】光学像を電気信号に変換する撮像案子と、 該提像素子の路光量を制御する路光制御手段と、 に該植像素子を駆動する駆動手段と、

数極像菜子あるいはメモリ回路の出力信号を用いて映像 該極像素子の出力信号を記憶するメモリ回路と、

1フィールド周期に、第1の路光量で露光された第1の **信号を該メモリ回路に記憶し、第1とは異なる第2の腐** 該第1の信号と該第2の信号を加算して出力することを 光量で腐光された第2の信号を該メモリ回路に記憶し、 信号を生成する信号処理回路を有し、 特徴とする楯像装置。 [請求項2] 前記儀光制御手段は、第1の歐光量で行う ルド内で任意に可変することを特徴とする請求項1に記 **顕光と第2の顕光量で行う臨光のタイミングを1フィー** 板の磁像装置。

【請求項3】前記第1の鉄光量は、撮影の中心となる被 光量は、撮影の中心となる被写体に最適な通常露光量で 写体の背景に最適な短時間腐光量であり、前記第2の瞬 あることを特徴とする副求項1又は2に記載の撮像装 【韶宋頃4】 前記版像素子は、プログレッンプタイプの 撮像楽子である事を特徴とする請求項1乃至3のいずれ かに記載の概像装置。 [請求項5] 前記像光制御手段は、撮像素子に蓄積リセ ット信号を与える事で、該撮像素子の受光量を制御する 電子シャッタである事を特徴とする請求項1乃至4のい ずれかに記載の協像被詔。 [請求項6] 前記以光制御手段は、撮像素子の受光面の 前面に光学的に腐光量を可変する事が可能な絞り装置で ある事を特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の 极像技蹈。

[請求項7] 前記信号処理回路は、生成した映像信号を 垂直方向に任意に開引く開引き回路を有することを特徴 【翻求項8】テレビジョン方式の有効ライン数のN倍の とする翻求項1万至6のいずれかに記載の撮像装置。 垂直囲業数を有する极像素子と、

該撮像素子の各画素に蓄積した信号電荷を出力させるよ 数操像素子の腐光量を制御する腐光制御手段と、 うに該損像茶子を駅動する駅動手段と、

該間引き回路の出力信号を用いてテレビジョン方式に順 前記擬像楽子あるいは前記第1のメモリ回路の出力信号 数擬像案子の出力信号を記憶する第1のメモリ回路と、 を垂直方向に1/Nに開引く間引き回路と、

前記版像楽子あるいは前記第1のメモリ回路の出力信号 該第1および第2の信号処理回路から出力された信号を を用いて映像信号を生成する第2の信号処理回路と、 じた映像信号を生成する第1の信号処理回路と、 加算する加算回路と、

該加算回路から出力された信号を第2のメモリ回路に記

1フィールド周期に、第1の腐光量で露光された第1の 第2の戯光量で露光された第2の信号を第1のメモリ回 信号を前記第1のメモリ回路に記憶し、第1とは異なる

路に記憶した後に、

前記第1および第2の信号処理回路から出力された信号 れた信号を前記第2のメモリ回路に記録すること特徴と を前記加算回路により加算し、前記加算回路から出力さ

[発明の詳細な説明] する撮像装置。

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明はビデオカメラならび に他子スチルカメラなどの撮像装置における信号処理技 新に関する。

[0002]

の人物の映像信号が黒く費れないような補正を行ってい た。しかしながら、この場合、逆光補正前に最適な蘇光 時間を長めに設定し、本来黒く潰れてしまう領域を明る する必要がある場合、室内外双方の腐光の妥協点で撮影 場合、一般的な解光制御を行うと、目的の人物が黒く徴 れ、窓の外の風景に適切な腐光が行われる。このような シーンを撮影する場合には、逆光補正処理を行い、目的 であった室外の風景は白く飛んでしまう。逆光補正処理 とは、カメラの絞りを通常より開き気味にするか、曝光 く撮影する燐光処理である。また、監視カメラなどにお 【従来の技術】ビデオカメラや電子スチルカメラにおい て、室内から撮影する窓辺の人物など、逆光時の撮影の いても、1台のカメラで室内と室外の両方を同時に監視 を行っていた。

学会技術報告VOL. 22, NO. 3 P. 1~6」記 載のように、屋内画像に適した通常欧光を行った映像信 【0003】 上記のような広いダイナミックレンジを必 **題とするシーンを撮影する場合、従来は「映像メディア** 号を垂直CCDに転送後、税けて屋外解光に適した短時 間路光を行い、通常腐光信号、短時間膨光信号を1日毎 に読出してそれぞれ別々信号処理を行い、生成した各々 の信号を加算して映像信号を生成していた。これにより 屋内画像は通常線光のS/Nの良い部分を用い、通常路 光で白飛びしてしまう屋外領域を短時間路光の画像で合 式でき、屋内から屋外までの階調を実現していた。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術では、通 flの垂直CCDを有するプログレッシブタイプの擬像素 図5は信号および制御パルスのタイミングチャートで図 6 は撮像素子の垂直CCDの信号配荷の流れを模式的に 同図は垂直方向の1つのフォトダイオード (PD) に3 【0005】これを図5および図6を用いて説明する。 子を用いた広ダイナミックレンジ指像の従来例であり、 常路光と、短時間路光を以下のように加算していた。

【0006】フォトダイオードに蓄積した通常爆光時の **塩荷は、図5 (c) のSG1パルスのタイミングPn1** で垂直CCDへ転送される。(図6_Ta)その後、同 図 (e) ~ (g) の垂直CCD駆動パルスV1~V3に よりCCD転送を行い (図6_Tも) 、SG2パルスタ イミングPn2で1画楽並んだフォトダイオードに蓄積

K)の時間Tsだけ電荷を蓄積し、再びSG1パルスの そして、各フォトダイオードは垂直帰級期間内(VBL タイミングPs1で垂直CCDへ電荷を転送し、(図6 ■Td) 先程と同様に垂直CCD駆動バルスV1~V3 でCCD転送を行った後、(図6_Te) SG2パルス タイミングPs2で1画案並んだフォトダイオードに審 税した信号電荷と混合する。(図6_Tf)この場合、 時間TSが短時間陽光時の蓄積時間である。 した信号電荷と混合する。(図6_Tc)

に格納された事になり、その後、通常の版像素子の倍の 速度で信号を読出す事で図5の(i)に示すように1H 事が出来、Data_n及びData_sを適当な比率 【0007】上記一連の動作により、垂直CCDには時 間Tfにおいて、通常路光信号と短時間路光信号が交互 (H:TV水平走查期間)期間に通常解光信号(Dat a_n) および短時間廢光信号 (Data_s) を得る で加算する事でダイナミックレンジの広い姫像を得る事 が可能である。

[0008]上記従来技術では、通常路光で白飛びして に限られる為、設定の自由度に制限が出来てしまうとい しまう領域の損像を受け持つ短時間損像の蓄積時間下s がCCD撮像素子の構造上、垂直帰線期間の一部の期間 う問題点があった。

【0009】さらに、上記技術では、垂直CCDに通常 **路光信号と短時間路光信号を交互に格納するため、通常 撮像信号ならびに短時間撮像信号はそれぞれ1画素並ん** だフォトダイオードの信号電荷と混合する必要が有り、 垂直の解像度が1/2に減少してしまう問題があった。 [0010]

モリに格納し、メモリにそれぞれ記憶された短時間露光 の信号と通常協光の信号とを適当な比率で加算する構成 【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するた めに、まず、短時間爆光を行った電荷を1画素並んだフ 続けて、通常騒光を行った電荷を混合せずに読出してメ オトダイオードと混合せずに読出してメモリに格納し、

【0011】この構成により、短時間露光と長時間翳光 為、被写体の高輝度部分の状況に応じた最適な歐光が可 のタイミングを1フィールド内で任意に可変する事で、 短時間露光の信号蓄積時間Ts'を自由に設定できる

常腐光を繰返し行うことにすれば、垂直解像度の減少を 【0012】さらに、フィールド単位で短時間解光と通

防ぐことができる。

[0013]

ッシブタイプのCCD協像案子、103はタイミングジ エネレータ、104はAGC回路、105はA/D変換 図3は撮像素子102の垂直CCDの信号電荷の流れを 【発明の実施の形態】図1~4を用いて本発明の一実施 例を説明する。図1は本発明を実現するためのブロック 図であり、101はレンズ、102は垂直方向の1つの フォトダイオードに3相の垂直CCDを有するプログレ 器、106はカメラ倡号処理回路、107はガンマ補正 110はガンマ特性切替えスイッチ、111は静止画デ 一夕記録用メモリ回路、112は遅延回路、113は遅 延回路である。図2および図4は各プロックにおける信 回路、108はメモリ回路、109はD/A変換回路、 **号およびタイミングジェネレータ103の波形である。** 模式的に表したものである。

【0014】レンズ101でCCD協像菜子102の受 に示す電荷数出しパルスSG1およびSG2でフォトダ イオードから垂直CCDに転送され順次説み出されてい ドに落積する時間はタイミングジェネレータ103で生 成する電子シャッタパルスSUB(c)を印加してから 電荷説出しバルスSG1,2 (b) が印可されるまでの 期間Tsである。CCD極像素子102から順次読み出 インを与えられた後にA/D変換器105でデジタル信 号へ変換される。デジタル変換された映像信号はカメラ く。ここで、CCD版像案子102の各フォトダイオー された映像信号はAGC回路104へ送られ、所定のゲ 光面に結像した被写体画像は、光電変換され図2(b) 信号処理回路106において色処理、輝度処理を行い、 ガンマ補正回路107で所定の非線型変換処理を施さ れ、メモリに記憶される。

【0015】ここで、図2に示すように、1フィールド B(c)のタイミングを切替えることで、CCD撮像素 子102の信号電荷蓄積時間を丁sあるいはTnと可変 単位でCCD撮像素子102ヘ与える電子シャッタSU でき、同図信号書館時間に示すようにCCD姫像案子1 02から出力する信号量を、長時間既光および短時間歇 光とで切替えることが出来る。

【0016】まず、通常撮影では白く飛んでしまう故写 体の高輝度領域の极像を行う。信号電荷署積時間Tsだ け蓄積した短時間腐光の映像信号は電荷設出しパルスS. る。(図3_T8) そして、垂直CCDに転送された短 い、ガンマ特性切替えSW110で高輝度信号に適した ガンマ値を選択したガンマ補正回路107で処理を行っ 時間磁光信号は図1(s)に示すように1H期間に2ラ 5、カメラ信号処理回路106を介して信号処理を行 インの割合で読み出され、AGC104、A/D10 G1およびSG2の時間Tgで垂直CCDへ転送され

【0017】次いて、通常の路光領域の協像を行う。短 た後にメモリ108へ記憶する。

9

€

特開2001-333331

ンターレースフォーマットに合わせる為、隣り合った上 て本実施例で撮像した映像信号をTV信号に変換する場 Data_s1+Data_s2=TV_ODD_s1 N) と奇数ライン (ODD) を生成している。 したがっ [0018] ここで、一般的にCCD极像素子で植像し た映像信号からTV信号を作成する場合、TV方式のイ 下2 画茶の信号を混合させる事で偶数ライン (EVE 合は、遅延回路112および113を用いて、図2の (t) および(x) に示すように、フィールド周期で

Data_s 3+Data_s 4=TV_ODD_s 2 可能に

あるいは

Data_n3+Data_n4=TV_ODD_n2

Data_n1+Data_n2=TV_ODD_n1

Data_s2+Data_s3=TV_EVEN_s

Data_s4+Data_s5=TV_EVEN_s

と性性

Data_n2+Data_n3=TV_EVEN_n

Data_n4+Data_n5=TV_EVEN_n

の信号を生成し、生成した通常磁光のTV信号と高輝度

領域のTV信号を加算する事で合成されたTV信号を作

【0019】合成されたTV映像信号はD/A変換器1 09でデジタルアナログ変換され、TV信号として出力 [0020] さらに、メモリ108に記憶した高輝度領 号をそのまま加算回路により加算し、不図示の記録回路 域の映像信号と、ガンマ処理を行った通常領域の映像信 により、解像度劣化の無い静止画データとしてフラッシ

[0021]以上により生成された映像信号は、通常の **撮影で白く飛んでしまう被写体の高輝度部分が高輝度領** ュメモリ111へ記録することも可能である。

域の松像信号で補完される為、逆光樹影などの場合も被 [0022] なお、本実施例のCCD撮像素子102は プログレッシブタイプの為、各画素に蓄積した信号を混 版像素子102の持つ垂直のデータ量すなわち垂直解像 合する事無く説出す事が可能であり、これによりCCD **度を落とす事無く、広ダイナミックレンジの映像信号を** 写体と背景の双方のデータをつぶす事無く撮影できる。

【0023】以上の動作をフィールド単位で構返し行う **事で、広ダイナミックレンジの動画映像信号を垂直解像** 度を犠牲にする事無く生成可能である。

生成できる。

に、先程メモリ108へ記憶した高期度領域の映像信号

電子シャッタパルスSUB (c゚) のタイミングを1フ イールド内で任意に可変する事で、短時間露光の信号著 镇時間TS'を自由に設定できる為、被写体の高輝度部 [0024] さらに、本実施例では図4に示すように、 分の状況に応じた最適な欧光が可能である。

つまりシャック時間を調節することにより、損像素子の 協像素子に入射される光量を調整する絞りで、顕光量を 【0025】なお、撮像素子の光電変換に要する時間、 路光量を短時間と長時間に変化させる例を説明したが、 変化させても、垂直解像度の劣化を防止できる。

【発明の効果】本発明により、撮像案子の各画案に蓄積 [0026]

皮を落とす事無く、広ダイナミックレンジの映像信号を した信号を混合する事無く読出す事が可能であり、これ により撮像素子の持つ垂直のデータ量すなわち垂直解像 生成できる。

1フィールド内で任意に可変する事で、短時間腐光の信 【0027】また、電子シャッタパルスのタイミングを 号蓄積時間を自由に設定できる為、被写体の高輝度部分 の状況に応じた最適な腐光が可能となる。

[図面の簡単な説明]

[図2] 図1の各プロックにおけるパルスタイミング 【図1】本発明の実施例を示した図。

[図4] 図1の各ブロックにおけるバルスタイミング 【図3】 撮像楽子の垂直CCD周辺の模式図。

[図5] 従来技術におけるパルスタイミング図。 【図6】従来技術におけるパルスタイミング図。

【符号の説明】

02…CCD极像素子 01…レンズ

03…タイミングジェネレータ

05…A/D変換回路

04…AGC回路

06…信号処理回路

07…ガンマ変換回路 108…メモリ

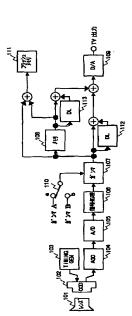
| 0 9 ··· D / A 変換回路

110…ガンマ特性切替えスイッチ

1111…フラッシュメモリ

112…遅延回路 113…遅延回路

[⊠₁]

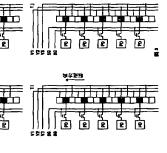


Ž

[図3] [図2]

3

机代码



(a) people/2 39

特開2001-333331

9

[🖾 4]

2H054 AA01 5C022 AA13 AB17 AC42 AC69 5C024 BX01 CX37 CX54 CX54 EX34 GX03 GY01 HX03 HX14 HX28 HX57 JX11 JX24 ドターム(参考) 2H002 DB02 DB19 EB09 GA04 JA07 JA08 ZA01 ZA03

'n,

e

(b) SG1,2 (e) SUB

(a) VR

(A) SIGNAL

3 3 3 E 9 3 9 3 E 9

[图6]

4

信号避许特国

[图2]

(b) 3G1,2

¥ 3

フロントページの統件

(12)発明者 小松 格之 种茶川県横浜市戸爆区吉田町292番地 株

式会社日立画像情報システム内